

## 第11回国立大学法人奈良国立大学機構経営協議会記録

日 時 令和5年6月20日(火) 15時00分～16時52分  
場 所 奈良女子大学第一会議室  
出席者 榎本理事長、宮下大学総括理事、今岡大学総括理事、榎本理事、西村理事、  
國枝委員、松本伸之委員、松本洋一郎委員、村岡委員、森川委員  
欠席者 吉田委員  
列席者 三野監事、大久保監事、三谷監事、三木事務局次長(兼 企画・財務課長)、  
岩阪監査室長  
(機構事務部)  
林総務課長、望月企画課長、川村人事課長、幸田財務課長、奥施設課長  
(奈良教育大学事務部)  
矢倉総務課長  
議 長 榎本理事長

議事に先立ち、第9回経営協議会(令和5年3月17日)、第10回経営協議会(令和5年4月17日メール審議)記録を確認

### 審議事項

#### 1. 令和4年度決算について

榎本理事から、資料1に基づき、令和4年度決算について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

#### 2. 令和6年度概算要求事項(案)について

榎本理事から、資料2に基づき、令和6年度概算要求事項案について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

#### 3. 意欲的な評価指標の再申請について

榎本理事から、資料3に基づき、意欲的な評価指標の再申請について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

國枝委員から、工学系大学院の設置については国公立を含めて、女子大学として初となる取り組みであるため、積極的にアピールすべきであること、また、学術論文数については、評価指標に掲げた本数でアピールすることは難しいのではないかとの意見があった。

榎本理事から、工学系大学院の設置を契機として産業界で新たなネットワークの仕組みをつくることで新規性を見出せないかという議論をしているところであること、また、論文数については、「理学系女性」というグルーピングをすることで、他大学との違いが説明できるよう検討しているところであることの説明があった。

國枝委員から、高大接続については、奈良教育大学と奈良女子大学が連携を深め、アピール点として一層強化してほしいとの意見があった。

#### 4. 給与支給日の変更に伴う奈良国立大学機構職員給与規程等の一部改正について

榎本理事から、資料4に基づき、給与支給日の変更に伴う奈良国立大学機構職員給与規程等の一部改正について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議

することとした。

5. 役員の令和5年6月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について

榎本理事から、資料5に基づき、役員の令和5年6月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

1. 第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る法人評価結果（業務実績及び教育研究）について

榎本理事から、資料6に基づき、第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る法人評価結果（業務実績及び教育研究）について報告があった。

2. 両大学の教育研究連携等の進展について

榎本理事から、資料7に基づき、両大学の教育研究連携等の進展について報告があった。

國枝委員から、SSHコーディネーター活用事業の採択を突破口にして高大連携含め、サイエンス分野の連携も強化していただきたいとの意見や、産地学官の連携の取組みにあたり、まずは両学でURAを配置することがよいのではないかととの意見があった。

松本伸之委員から、コロナ禍以降、停滞していた観光分野における国際化が再び広がってきているので、奈良の観光分野と大学との連携、奈良の地域の活性化と国際交流への取組に対して期待したいとの意見があった。

松本洋一郎委員から、工学系大学院の設置に関連して、企業においては女性の研究者や技術者が求められているため、エンジニアとしての育成を考えた、企業インターンシップのようなものをカリキュラム化するとよいのではないかととの意見があった。

村岡委員から、日頃より工学部の取組みについては大学から学外へ発信していると思うが、特に高校生が奈良女子大学の工学部に興味を持つように継続的なアピールが必要であり、高校生がこの大学で学びたいと思わせる努力が必要であるとの意見があった。また、奈良教育大学におけるESD・SDGsセンターについても同様に、高校生に浸透させる努力が必要であるとの意見があった。

森川委員から、結婚、出産に伴って生活目的が変化し、大学で学んだ知識を活かすことができないと感じる女性が多いと感じており、このような女性たちに向けた新しい生涯教育のような取組みを、大学が一体となって考えていただきたいとの意見があった。

3. 令和5年度国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）の申請について

榎本理事から、資料8に基づき、令和5年度国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）の申請について報告があった。

4. 主要取引銀行（メインバンク）の選定の手続の開始について

財務課長から、資料9に基づき、主要取引銀行（メインバンク）の選定の手続の開始について報告があった。

5. 奈良国立大学機構基礎データ集

榎本理事から資料10に基づき、奈良国立大学機構基礎データ集を作成したことについて報告があった。

## 6. その他

國枝委員から、同一法人内の柔軟な教員配置について、大学院の研究指導を両学教員が相互に行うことや、研究指導において単位互換の仕組みをつくることで両学の研究が進展するような取組みを進めて頂きたいとの意見や、女性研究者の養成について、女性リーダーの養成は奈良女子大学の使命であり、他大学に比べて女性教員を昇任させる割合も多いため、女性教員を准教授まで養成し、奈良女子大学から全国の大学へ教授として輩出することで、女性リーダーの養成という面で当機構が輝くことができるのではないかと  
の意見があった。

松本伸之委員から、奈良国立大学機構の知名度を上げる取組みを強化すべきであるとの意見があった。

松本洋一郎委員から、工学系研究科の設置に関連して、日本の企業は女性研究者を強く求めていることから、女性の博士人材を育成し、研究機関に輩出するよう戦略的に取り組むことでKPIに反映していったらどうかとの意見があった。

村岡委員から、民間企業では、特定の分野で突出したものを持った企業が成長していることを例に、突出した教育をもった大学が、今後成長していけるのではないかと、との意見があり、奈良教育大学はESD・SDGsセンター、奈良女子大学は工学部を全面的に押し出していくべきであるとの意見や、当機構は小規模大学だからこそ、世の中のニーズに敏感に反応できるという強みを活かしていくべきであり、優秀な人材の育成と輩出に期待しているとの意見があった。

森川委員から、情報に敏感に反応する力、相手を説得する力、知識を活用する力を学生時代に身に付けるような経験をさせてほしいとの意見があった。

次回は、9月22日に開催することとして散会。

以 上